

巻 頭 言

メディアセンター長

立教大学理学部 教授 平山孝人

V-Campus は立教大学の学生・教職員の全ユーザーに先進的で利便性の高い情報環境・サービスを提供するシステムです。1999年に V-Campus 1st Stage を開始し、約4年ごとの更新を経て、2012年4月から V-Campus 5th Stage の運用を始めました。今回の更新は、ユーザーにとって以前と比べて見た目はあまり変化がないように見えるかもしれませんが、様々な部分で利便性が向上し、また、以前に比べて災害に強く、外部からのネットワークを通じた攻撃などにも強いシステムとなっています。詳細は本センター報に記載されていますが、2012年から始めた新しいサービスのうち、特にユーザーに直接関係している点をいくつかあげます。

・スマートフォン対応

今回の更新で特に力を入れたことの一つにスマートフォン対応があります。2011年度に全ユーザー対象に行なった「V-Campus 5th に望むこと」というアンケートで学生からの要望で一番多かったのが、休講や教室変更などの情報を通知して欲しいということでした。V-Campus 5thではスマートフォン(Android, iPhone, Windows Phone)用のアプリケーション「SPIRIT Mobile」を開発し、通知機能を実現させました。また、大学案内アプリケーション「RIKKYO UNIVERSITY」も公開し、いつでも、どこにいても、大学生活に必要な様々な情報にアクセスすることが可能となっています。

・卒業生のメールアドレス継続利用

2011年度卒業生から、V-Campus IDのメールアドレスを卒業後も使用することが可能となりました。この新しいサービスの実現により、卒業生自身が学生時代のアドレスを継続的に利用することができるという利便性に加え、立教大学と卒業生、および卒業生同士のつながりが今まで以上に強くなるのが期待できます。

・日本マイクロソフト(株)との連携

2012年度前期に日本マイクロソフト(株)と連携して、連続公開講座「考える技術・伝える技術 ～立教型ビジネス基礎講座～」を開催しました。これは、学生が世界で活躍できる人材になるために必要な、論理的思考力・コミュニケーション力・プレゼンテーション力などを身に付けることを目的とした講座です。この内容はe-learningコンテンツとしてまとめられ、2013年度中に公開される予定です。また、マイクロソフトの教育機関向け総合ライセンス契約を結び、大学所有のコンピュータだけでなく、学生・教職員の個人所有のパソコンにもMicrosoft OfficeとWindows OSを無償でインストールすることが可能となりました。

これら以外にも V-Campus 5th Stage で実現された新しい機能はたくさんありますが、やはりメディアセンターとしての一番重要な仕事は、大学における情報基盤を安定して動かし、365日24時間、全ユーザーに使いやすい環境を提供するということです。メディアセンターは今後も目に見えるサービス(利

便性の向上)と目に見えにくいサービス(安定した運用)を安定に提供できる態勢を保ち、大学における研究・教育・運営の全ての面にわたって更なる貢献ができるよう努力していきたいと考えています。ユーザーの皆様も、メディアセンターに対して忌憚のないご意見、ご要望などを寄せていただけますよう、お願いいたします。